

社会保障制度における 心理療法(カウンセリング)と 公費負担医療

北海道大学 加藤智章

医療保障の全体像

- 公費負担医療
 - 全額公費型
 - 医療保険 + α 型
- 医療保険
 - 療養の給付
 - 療養費
 - 保険外併用療養費
- 自由診療

公費負担医療の目的

- ①社会的弱者の援助・救済
- ②障害者福祉
- ③健康被害に対する補償
- ④公衆衛生の向上
- ⑤難病・慢性疾患の研究・助成

公費負担医療

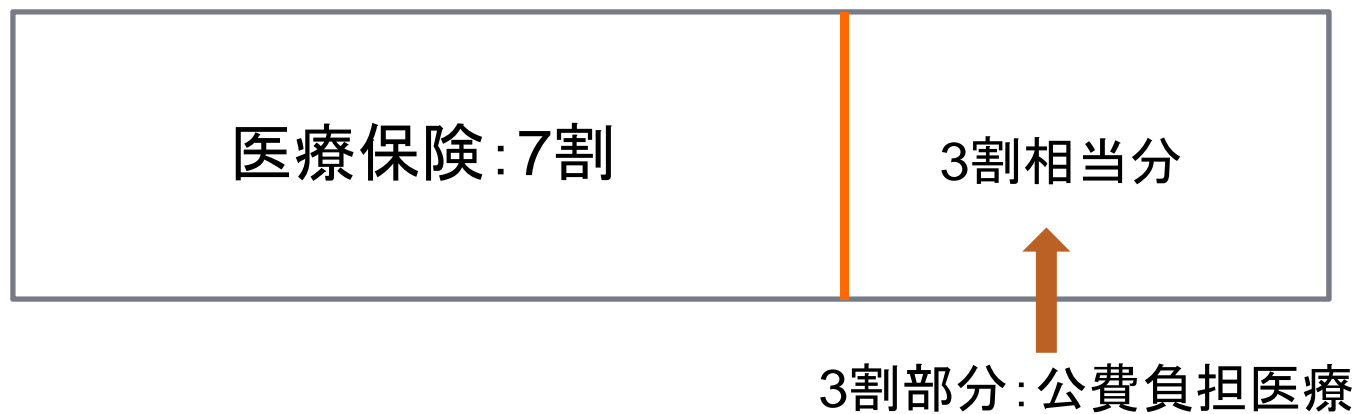
全額公費型

医療保険優先 + α 型

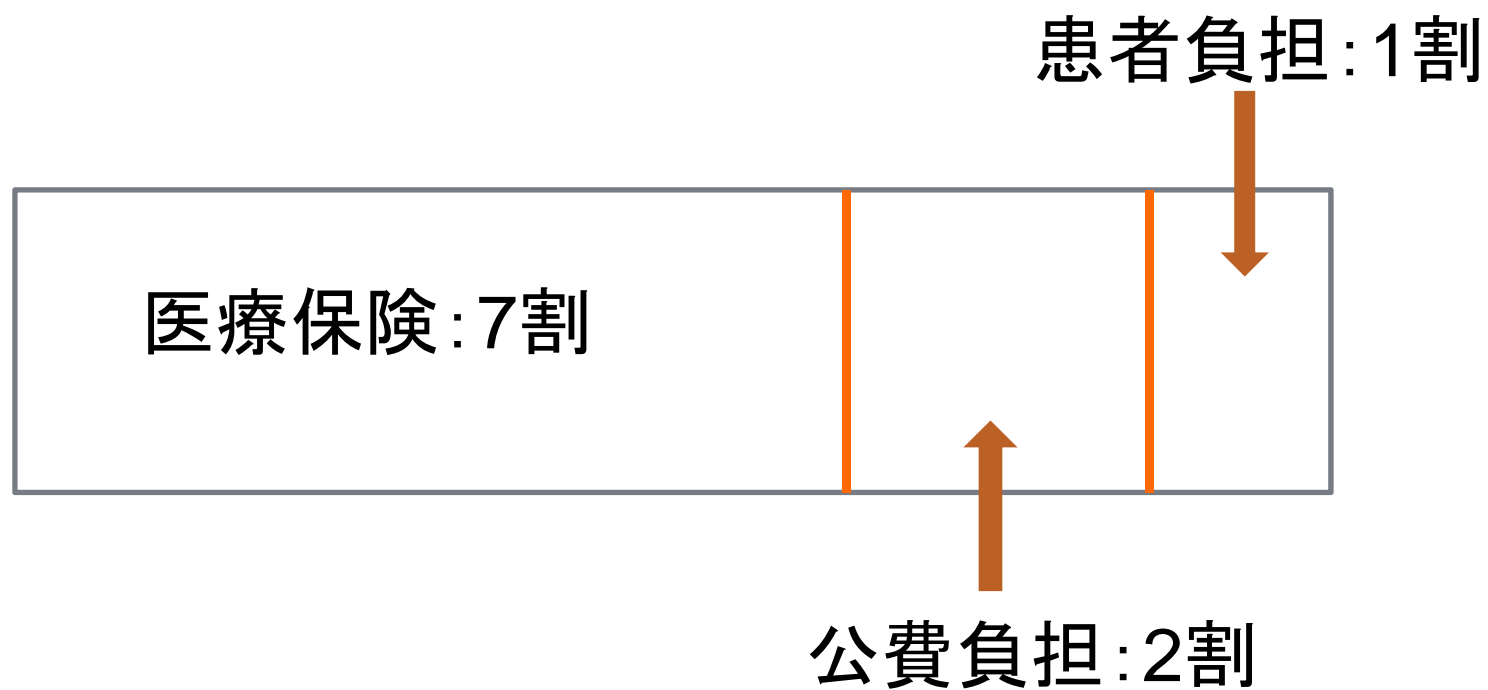
全額負担額型

一部負担型

医療保険優先・全額負担型



医療保険優先・一部負担型



障害者自立支援法

- 育成医療：身体障害児（18歳未満）
- 更生医療：身体障害者
- 精神通院医療：精神障害者
＝医療保険優先・一部負担型

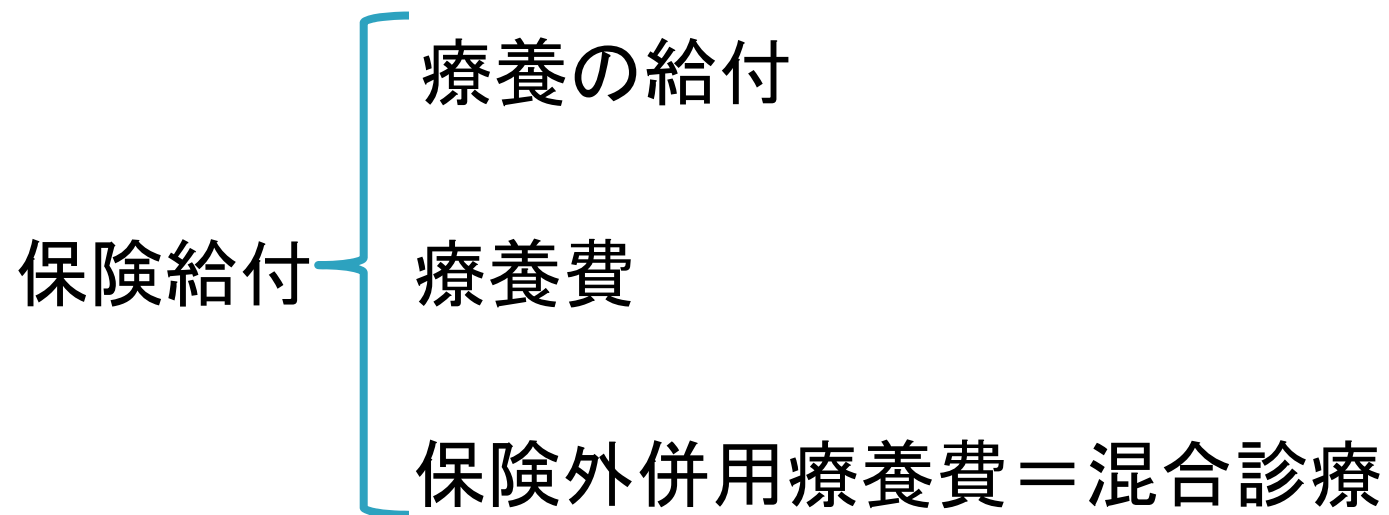
精神通院医療その1

- 支給認定
 - ・・市町村
 - 支給認定要件：市町村民税
 - 自立支援医療受給者証
 - 負担軽減措置
- 自立支援医療費
 - = 7割 + 2割 + 1割

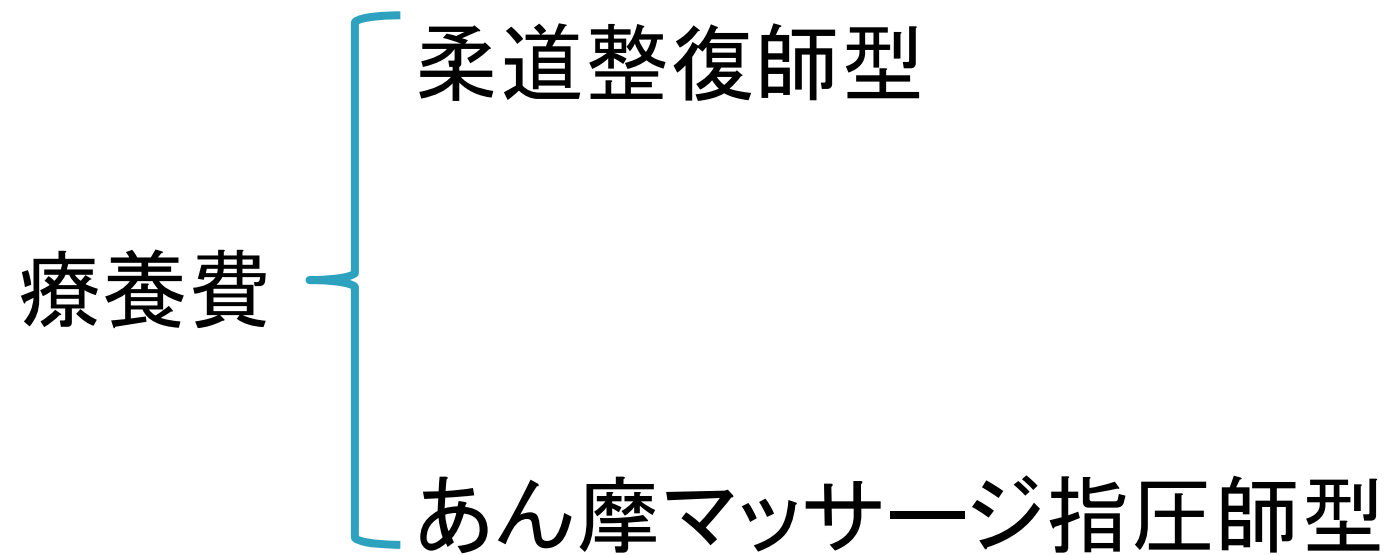
精神通院医療その2

- 指定自立医療機関
 - ・・都道府県知事の指定
- 国・都道府県の負担
 - 都道府県の支弁
 - 国：半額負担

保険診療



療養費



保険外併用療養費

▶ 評価療養

適正な医療の効率的な提供を図る観点から評価されるべきサービス

▶ 選定療養

特別な病室の提供など被保険者の選択・選定に関するサービス

先進医療（高度医療も含む）

▶ 評価療養のひとつ

いまだ保険診療の対象に至らない先進的な医療技術について安全性、有効性等を確保するために一定の施設基準を設定し、保険診療との併用を認める

95種類（2011年11月1日現在）

保険外併用療養費・負担

上乗せ部分：評価療養・選定療養

患者からの徴収
自由診療

基礎的部分

保険外併用療養費

臨床心理士による カウンセリングの公費負担化

- ◆ ①国家資格化による医療保険(報酬)体系への組み込み

施療≠施術

- ◆ ②報酬体系への組み込み
＝報酬算定方法の明確化→財源の手当

課題

- ◆ 財源
- ◆ 報酬額
- ◆ サービス網
- ◆ 犯罪被害者の範囲

等々